

第1回 意見交換会 議事録
**「中米・カリブ地域（広域）フードバリューチェーン強化・農業
ファイナンスに係る 情報収集・確認調査」**

日時：2022年9月8日 10:00-11:00 JST

場所：オンライン開催

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

参加者：約30名

1. 開会挨拶

JICA 中南米部中米・カリブ課 坂口課長

・お忙しい中お集まりいただき感謝を申し上げます。前部署の経済開発部農業農村開発グループ時代に一緒に事業を実施させていただいた馴染みの顔ぶれも多く、世界中で様々な経験をされてきた皆様と中米・カリブ地域の農業開発について意見交換できることを非常に楽しみに思う。

・これまでの中米・カリブ課での資金協力は90年代に一度盛り上がりを見せたが、その後形成・実施された案件は限定的。一方、技術協力においては、コンスタントに形成・実施しており、近年では市場志向型農業への取り組みなどが盛んにもなっている。

・本調査では中米・カリブ地域23か国の内6か国（メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、パナマ、ドミニカ共和国）を選定しており、うち2～3か国で現地調査を予定している。

・意見交換会として、今回を一回目とし、現地調査後に第二回、最終報告時に第三回を実施予定である。

・本調査の出口としては、ツーステップローン等の円借款、海外投融資や技術協力を考えている。JICAが実施する海外投融資の約半分は中南米地域で行われており、ポテンシャルはあると思われる。

2. 調査概要の紹介

株式会社三祐コンサルタンツ（本調査業務主任） 蛭田 英明

・今回の意見交換会では、第一回目として調査計画の紹介を中心に扱う。

・フードバリューチェーン（FVC）の強化を目的とし、有償資金協力（円借款（プロジェクト型、ツーステップローン）、海外投融資）の形成を視野に入れた調査を実施する。

（詳細（プレゼンスライド）：[中米・カリブ地域（広域）フードバリューチェー](#)

3. 全体意見交換会

コメント 1:

- ・マーケットサイズとビジネスサイズをはっきりさせる必要があると考える。サプライチェーンの各段階における雇用にもつながるため、その経済規模を把握することは重要。これらを理解することで、投資可能性が明確化できると考える。
- ・各機関での融資条件（貸付の金額、期限など）の明記が必要だと考える。スペシャルコーヒーに関しては、経済利益までに4、5年はかかるためそれまでの収益などのファイナンス面の分析し、融資リスクを明確にする必要がある。

回答 1:

- ・ご指摘に感謝。マーケットサイズは従来のように統計資料を活用しつつ調べたい。ビジネスサイズに関しては、把握が難しいが、品目ごとの協会（Association）などの規模から把握したいと考える。
- ・中米・カリブ地域では移民送金も大きなイシューであるため、雇用への影響については大きな示唆を得た。
- ・キャッシュフローについて、貸付条件なども金融機関から手がかりをつかんでいきたいと考える。

コメント 2:

- ・COVID-19 についての現状を踏まえつつ、必要な融資の規模など、借りる側のニーズの聞き取りが必要だと考える。
- ・COVID-19 の間に進んだデジタル化により、ビジネスチャンスが生まれていると考えられるため、現地の情報収集能力と応用力についての調査もあると良い。
- ・投資家の選択に重要なのは ESG だと考えている。JICA へ対しては社会公益性の高さが重要である。

回答 2:

- ・借りる側にとってのニーズの聞き取りにおいて、ローンアクセスについての質問を用意している。返済期間などの問題や条件緩和の必要性について明らかにしたい。

コメント 3:

- ・それぞれの国として、どのような FVC 関連の政策が行われているのか、COVID-19 についての対策や政府の対応がもっと知りたい。
- ・農家組合やアソシエーションなどの取り組みの透明性や公平性をもち運営していくかについて明確化する必要があると思う。

回答 3 :

・デジタル化関連のスタートアップ企業が近年進出しているが、南米に比べて中米・カリブ地域では少ない。センサー、ロボット、情報プラットフォーム作成の企業が多いと考えているが、調査を通して明らかにしたい。国や民間企業の違いにつながると考え重要と認識。

・国としての支援や農業組合の視点は、大変参考になる。案件形成の段階での活用となると考えるが、ぜひ参考にさせていただきたい。

コメント 4 (メールにてご意見をいただきました)

・FVC 強化イメージの統合型 FVC にて、インテグレーションによるコスト削減と高付加価値化は重要な点と思う。一企業が行う垂直的タイプと、複数の企業の一体化により工程を統合する水平的タイプと二つあると考え、調査時に、市場規模・経済規模と共にどちらの統合型が合致しやすいモデルか、検討すると良い。

・対象品目の農家にとっての重要性や収益性を含む生産者側（農家側）の営農形態も調査されると良いと考える。

・FVC 品目生産対象地域における派生産業によって農家（家族）への雇用創出効果が期待できるかの検討も重要。ポストハーベスト処理や保冷库・流通ロジスティクスセンターなど複数品目を扱える施設も検討可能かと思う。

・中南米地域の輸出製品の多くは北米へ行くと想像するため、その中での日本企業の進出（有償勘定の受注企業として検討できそうか）やリソース（知見や人材）が活用できるかを検討すると、案件形成につながると思う。

以上

(本議事録は先方の確認を得たものではない。)